

当社国内プロダクション事業第1弾ドラマ「八月の声を運ぶ男」が、第34回（令和7年度）橋田賞を受賞



株式会社WOWOW（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 山本 均、以下「WOWOW」）が企画・制作した「八月の声を運ぶ男」が、第34回（令和7年度）橋田賞を受賞しました。被爆体験、そして戦争の記憶を継承していくことの意味と人間の尊厳のあり方を静かに問いかけた点が高く評価され、当社として初となる橋田賞の受賞となります。

本作は、長崎に暮らし日本全国を渡り歩いて被爆者の声を集め続けたジャーナリスト伊藤明彦の実話に基づいた、原爆によってもたらされた数奇な出会いの物語。当社国内プロダクション事業の第1弾として企画・制作し、NHKにて戦後80年ドラマとして2025年8月に放送されました。

橋田賞は、人の心、人と人とのふれあいを温かく取り上げ広く大衆に支持され感動を呼び起こし芸術性豊かで優れ、放送文化の振興・向上に寄与した番組・作品・人に贈られる賞で、1993年から橋田文化財団によって表彰されています。

<贈賞理由>

被爆者の証言に真摯に向き合い、その声を録音し続けたジャーナリストの実話をもとに、戦後80年ドラマとして制作された秀逸な作品。被爆体験、そして戦争の記憶を継承していくことの意味と人間の尊厳のあり方を静かに問いかけた点を評価する。

■「八月の声を運ぶ男」概要

初回放送

2025年8月13日（水） [NHK（総合）]

<https://www.nhk.jp/p/ts/663796R2L1/>

NHKオンデマンドで配信中

番組内容

<ストーリー>

その生涯をかけ千人を超える被爆者の「声」を録音し、未来へ遺した一人のジャーナリストがいた。長崎の放送局を退職した辻原保（本木雅弘）は、重い録音機材を携え日本全国を渡り歩いていた。活動を周囲から理解されない孤独の中、彼は一人の被爆者・九野和平（阿部サダヲ）と出会う。その感動的な被爆者体験は辻原の心を強く揺さぶり「声」を遺すことへの決意を新たにさせる。しかし、その「声」は謎に満ちたものだった…。

<スタッフ・キャスト>

出演：本木雅弘 石橋静河 伊東蒼 国広富之 尾野真千子 田中哲司 阿部サダヲ

原案：伊藤明彦「未来からの遺言 - ある被爆者体験の伝記」

作：池端俊策

音楽：清水靖晃

制作統括：加茂義隆（WOWOW）、尾崎裕和、熊野律時（NHK）

プロデューサー：松本太一（WOWOW）、森井敦（東映京都撮影所）

演出：柴田岳志

報道関連・IR関連のお問い合わせ

経営管理局 広報・IR部 TEL:03-4330-8080

E-mail:corp.support@wowow.co.jp

コーポレートサイト:<https://corporate.wowow.co.jp>

SNS(X):https://x.com/WOWOW_Inc